

学校 番号	67	学校名	下伊那農業高等学校
----------	----	-----	-----------

令和2年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和2年6月19日（金）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 意見聴取方法
学校評議員会の開催
- (2) 参加者
①学校評議員 6名（1名欠席）
②本校教職員 11名（校長、教頭、事務長、教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、農場主任、自治活動主任、同窓会係、PTA係、教務係）
- (3) 協議事項
①学校より（現況、教育目標・3つの方針・学校評価等、進路状況、生徒状況、グローバル・アグリハイスクール宣言、同窓会100周年記念事業、PTA活動等）
②意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 多角的・多面的な視点からご意見等をいただくために、できるだけ学校の状況を端的に説明し、多くの意見をいただくよう努力した。
- 100周年記念事業の一環として建設され、県に移管された蛟竜館（創立100周年記念棟）を会場として活用し、本校の歴史を感じていただいた。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 地域で活躍し地域で育てていただくことは、人間形成の意味でとても重要だ。今後も継続していただきたい。また、将来役立つ資格を数多く取得させることは、武器になるので今後も積極的に取得させてほしい。
- 新型コロナウイルス感染症により、生徒達の心の中が心配。高体連の大会等が中止になり、とても落ち込んでいると思われるので、生徒達の気持ちに寄り添って欲しい。→ 表面には出さないが、3年生は特に、落ち込んでいる生徒が多い。今週から来週にかけて生徒面談を全員に行い、生徒達の様子を把握したうえで、各部門で対応を検討していきたい。
- 臨時休業中の対応とオンライン授業の状況を教えていただきたい。→ 臨時休業中は、全校へのメール配信やWeb掲載の活用等で生徒への連絡を行ってきた。また、課題に対しては、オンライン授業を活用した解説等で理解を深めさせる工夫を行った。このピンチを良い機会と捉え、若い教員を講師に教員研修等を積み重ねることで、多くの授業でオンライン授業を実施することができた。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、生徒達の心の中を心配してくださるご意見が多く、学校評議員の方々に深く感謝している。生徒達の心のケアを充実させ、学習や班活動、進路に向けて、学校としても全力でサポートしていきたい。
- 本校が地域に果たす役割や、専門高校としてのメリットを改めて認識することができた。今後は、さらに資格取得や地域連携等で生徒を育てていくことが重要であることを再認識した。

※報告書は2枚以上になってもかまいません。実施後、できるだけ早く提出してください。

※会議資料、新聞記事等提出できるものがあれば添付してください。